

令和3年度 社会福祉法人桜友会 事業計画

【令和3年度法人事業目標】

1. 教育：法人理念・事業目標を理解し、知識・技術を磨き成長を心掛け、高品質のサービスを提供する
2. 環境：利用者にとって心地良く過ごし易い環境の整備、清潔で明るく効率的で働き易い職場であるために小さなことでも一つずつ改善を重ねる
3. 安定運営：安定した運営のために施設資源を有効に活用する。常に定員までの利用を心掛ける

1. 特別養護老人ホーム ほほえみ福寿の家

I. 事業所目標
目標（法人目標を達成するために目標とすること）： 1 職員一人一人が改善提案をする事で効率化を行い、働き続けたいと思える職場を目指す。 2 優秀な職員を育て、安定運営と高品質なサービス提供を目指す。 3 介護ロボット等の介護機器の知識や技術を高め、介護負担軽減を目指す。
II. 目標達成のための施策（何に取り組むか）
1 各自が毎月1回、業務改善提案を行う。 2 各自が年1回、自ら外部研修を探し受講する。 3 アセッサーを新規で2名取得し、現在取得済のアセッサーは1名以上の評価を行う。 4 職員の腰痛予防にロボット等を使用し、アンケート実施により腰痛発生0とする。 5 従来型の入院は54日以内、地域密着型の入院は12日以内に抑え満床率98%以上とする。

2. 短期機入所生活介護 ほほえみ福寿の家

I. 事業所目標
目標（法人目標を達成するために目標とすること）： 1 職員一人一人が改善提案をする事で効率化を行い、働き続けたいと思える職場を目指す。 2 優秀な職員を育て、安定運営と高品質なサービス提供を目指す。
II. 目標達成のための施策（何に取り組むか）
1 各自が毎月1回、業務改善提案を行う。 2 各自が年1回、自ら外部研修を探し受講する。 3 ヒヤリ・不適合の原因分析に努め、転倒・転落による骨折事故0件 4 長期の空きが出た際に2週間以内に次の長期の利用者の利用調整を行い1ヶ月の稼働率を90%以上

3. 通所介護 デイサービスセンターほほえみ

I. 事業所目標
目標（法人目標を達成するために目標とすること）： 1 外部との関わりを通してプロフェッショナルな職員が育成される。 2 ご利用者の自宅の状況を把握し、自立支援を目的とした機能訓練やレクリエーションを提供する。 3 平均利用者数39名以上を目指す。
II. 目標達成のための施策（何に取り組むか）
1 月に1件以上、相談員以外の職員がサービス担当者会議に参加する機会を作る。 2-1 月に1件以上、心身の機能が向上するレクリエーションを企画・実施し、身体機能が維持できる（バーセルインデックス使用）。 -2 月に2件以上、個別機能訓練実施者の自宅環境をアセスメントし、訓練内容と計画の見直しをする（居宅チェックシート使用）。 3 月に1回以上、お便りなどを使用し営業活動に出掛け、特色やアピールポイントを包括や居宅事業所にPRする。

4. 認知症対応型通所介護 まなびやデイサービスセンターほほえみ

I. 事業所目標

目標（法人目標を達成するために目標とすること）：

- 1 認知症の利用者様が可能である限り在宅において生活できるように、「出来る事」に視点を当てた役割や個別ケアを行いつつ、笑顔で楽しく過ごして頂けるように支援し、ご利用者様ご家族様の満足度を上げる。

II. 目標達成のための施策（何に取り組むか）

- 1 利用者へのアセスメントを全員で行い、その中から在宅生活に必要な機能を引き出し、利用時に「生活リハビリ」として活用する。（3名/月）
- 2 季節を感じられる行事や楽しみ・喜びに繋がるレクリエーションに参加して頂く事で満足度も上げ、認知症の進行を遅らせる事が出来る。（回/月）
- 3 デイサービス利用時の様子をご家族・ケアマネジャーに伝える事で、満足度を上げ利用率を上げる。（利用中の様子が分かる写真やコメントを書いたものを請求書と共に郵送する。）（件/月）

5. 認知症対応型通所介護 まなびやデイサービスセンターほほえみ栄町

I. 事業所目標

目標（法人目標を達成するため目に目標とすること）：

- 1 職員が アセスメント力を上げることで、利用者のQOLの向上を目指す。
- 2 家庭的な雰囲気大切に、季節感があり、心地良く過ごせる環境作りを目指す。
- 3 日常のコミュニケーションを大切にし、認知症利用者、家族の意向をケアに活かし満足度を上げる。

II. 目標達成のための施策（何に取り組むか）

- 1-1 認知症に特化した事業所として、月1回認知症勉強会を行いスキルアップを目指す。
⇒認知症勉強会 月1回
- 1-2 認知症に特化した事業所として、月1回認知症勉強会を行いスキルアップを目指す。
⇒個別ケア検討会 月1件以上
- 2 業務の問題点について職員間で共有し改善策を検討する。⇒業務改善検討会 月1回
- 3 イベントや自立支援を目的としたレクリエーション、機能訓練を提供しその模様を毎月のお便りや特別号、アルバムにしてご報告する事で理解と満足度を上げる。
お便り⇒毎月、特別号⇒3ヶ月に1回、アルバム⇒4ヶ月に1回

6. 訪問介護 ほほえみ訪問介護事業所

I. 事業所目標

目標（法人目標を達成するために目標とすること）：

- 1 働きやすい職場になる新たな体制の施策、安定した訪問介護運営体制を構築しながら、利用者及び利用者を介護する家族や関係者から使ってよかったと思って頂ける信頼ある事業所を目指す。

II. 目標達成のための施策（何に取り組むか）

- 1-1 職員一人一人の能力に応じた教育の機会を与え、個々の能力を最大限に発揮できる教育訓練の受講環境などを整備し、積極的に取り組む職員を支援する。
- 1-2 介護・障害福祉サービスの専門的知識向上と、日々更新される情報を積極的に取りに行く姿勢や創造性、利用者との信頼性、利用者のニーズの変化や要望に臨機応変に対応できる柔軟性を高める人材育成の為の研修を行う。
- 2-1 利用者からの苦情・クレーム・要望に対し、発生した原因や状況を分析し、適切な解決に努め、問題点の改善やより良いサービス提供に前向きに取り組む。
- 2-2 失敗を恐れず、試行錯誤を繰り返しながら取り組み続けながら、小さな業務改善事例を積み重ねていく。
- 3 ICT導入により報酬請求業務の記録時間を削減する事で職員の生産性を向上させる。

7. 軽費老人ホーム ケアハウス桜

I. 事業所目標

目標（法人目標を達成するために目標とすること）：

- 1 職員のスキルアップを図り、入居者やご家族に安心を与える生活環境づくりを目指す。

II. 目標達成のための施策（何に取り組むか）

- 1 相談援助業務を基準に知識・技術を身に付け、個別面談やリフレッシュ相談会で相談援助を行い、入居者一人一人のカンファレンスを強化する事で、入居者に満足いただけるサービスの提供。
- 2 共同スペースや事務所の環境を整え、入居者に喜んでいただける明るい雰囲気作りを目指す。
- 3 地域へケアハウスのアピールを行い、満床定員26名を目指す。

8. 認知症対応型共同生活介護 グループホームほほえみごこち

I. 事業所目標

- 1 研修又は勉強会に参加すると共に職員一人一人が改善活動を行う自覚を持つことで成長し質の高いサービスを提供する。
- 2 お互いの働く環境を見直し改善をしていく。
- 3 入院・転倒・転落事故を未然に防ぎ満床率100%を目指す。

II. 目標達成のための施策（何に取り組むか）

- 1 高齢者介護に関わる研修・勉強会へ参加をして改善活動を各職員が1月1件以上行う。
- 2 働く環境が気持ちの良いものであるように、1人1つの改善案を出して実施する。
- 3 不適切ケア虐待防止・ヒヤリハット・不適合事項に関する事をグループホーム3部署で情報を共有し、ミーティングにて他職員へ伝達し入居者の転倒・転落事故による入院をなくす。

9. 認知症対応型共同生活介護 グループホームほほえみごこち田原

I. 事業所目標

目標（法人目標を達成するために目標とすること）：

- 1 認知症状を理解し、ご利用者一人ひとりに合った対応を提供し、安心して頂けるように努める

II. 目標達成のための施策（何に取り組むか）

- 1 認知症に関わる研修会への参加。自部署での勉強会を開催しご利用者一人ひとりの対応方法を学ぶ
- 2 ご利用者の生活スタイルを把握し、体調等変化に気付き、早期に対応し、随時アセスメントの見直しを行い、情報の共有を図る
- 3-1 在宅ケアマネや他事業所と連携・情報交換を行い、空床を作らない入退所の調整を行うことで、満床率100%を目指す
- 3-2 虐待防止・不適切ケア・ヒヤリハット・不適合事項に関する項目をグループホーム3部署にて情報共有し、共通認識を持ち、自部署にて伝達・検討し、ご利用者の施設内事故による入院をなくす

10. 小規模多機能型徐卓介護 ほほえみごこち田原

I. 事業所目標

目標（法人目標を達成するために目標とすること）：

- 1 ご利用者が地域と繋がりながら、安心して生活が送れるように支援する

II. 目標達成のための施策（何に取り組むか）

- 1 ご利用者のニーズに沿った支援をしていく為、アセスメント・ケアプランの理解を深め、知識・技術のレベルを高め、外部の研修等に参加する
- 2 施設内外の環境を整え、整理整頓・清潔を保った空間で生活して頂くために、職員は日頃より美化活動を積極的に行う
- 3-1 在宅ケアマネや他事業所と連携・情報交換を行い、空床を作らない入退所の調整を行うことで、録者数の増加を目指す

3-2 虐待防止・不適切ケア・ヒヤリハット・不適合事項に関する項目をグループホーム3部署にて情報共有し、共通認識を持ち、自部署にて伝達・検討し、ご利用者の施設内事故による入院をなくす

1 1. 認知症対応型共同生活介護 ほほえみ栄町

I. 事業所目標

目標（法人目標を達成するために目標とすること）：

- 1 自己の仕事に誇りを持てる技術・接遇を身に付け、地域社会から求められる施設を目指す。
- 2 職員間のモチベーションを高めながら、効率的な業務を行える事業所になる。

II. 目標達成のための施策（何に取り組むか）

- 1-1 職員一人ひとりが資格取得やキャリアアップに繋がる目標を立てる事で、勉強会や外部研修に参加し専門性を向上させる。 勉強会や外部研修に参加 1名以上/月
- 1-2 職員の不注意によるヒヤリハット・不適合をなくす事で安全・安心して過ごせる生活の場を提供する職員の不注意によるヒヤリハット・不適合0件/月
- 2 環境や業務、様式等の見直しや記録業務に関わる勉強会を行う事で、記録記入による時間外業務を減らす。業務改善を行う 1件以上/月
- 3-1 他事業所や他機関、在宅CMと連携・情報の共有を行い、空床を作らない入退所の調整を行う事で満床率100%を目指す。 満床率 100%/月
- 3-2 グループホーム3部署で不適切ケアや虐待防止・ヒヤリハット・不適合事項に関する内容を情報共有する場を設ける事で、自事業所内で検討・伝達し入居者の施設内事故による入院をなくす。情報共有の場を設ける 1回以上/月

1 2. 居宅介護支援事務所 ほほえみ介護センター、ほほえみ介護センター栄町

I. 事業所目標

目標（法人目標を達成するために目標とすること）：

- 1 自己の仕事に誇りを持てる技術・接遇を身に付け、地域社会から求められる施設を目指す。
- 2 職員間のモチベーションを高めながら、効率的な業務を行える事業所になる。

II. 目標達成のための施策（何に取り組むか）

- 1-1 職員一人ひとりが資格取得やキャリアアップに繋がる目標を立てる事で、勉強会や外部研修に参加し専門性を向上させる。 勉強会や外部研修に参加 1名以上/月
- 1-2 職員の不注意によるヒヤリハット・不適合をなくす事で安全・安心して過ごせる生活の場を提供する。職員の不注意によるヒヤリハット・不適合0件/月
- 2 環境や業務、様式等の見直しや記録業務に関わる勉強会を行う事で、記録記入による時間外業務を減らす。業務改善を行う 1件以上/月
- 3-1 他事業所や他機関、在宅CMと連携・情報の共有を行い、空床を作らない入退所の調整を行う事で満床率100%を目指す。 満床率 100%/月
- 3-2 グループホーム3部署で不適切ケアや虐待防止・ヒヤリハット・不適合事項に関する内容を情報共有する場を設ける事で、自事業所内で検討・伝達し入居者の施設内事故による入院をなくす。情報共有の場を設ける 1回以上/月

1 3. 関市中央第4地域包括支援センター

I. 事業所目標

目標（法人目標を達成するために目標とすること）：

- 1 三職種がそれぞれの専門職としての知識を活かし、全世代対象のワンストップ窓口としての役割が出来るよう自己研鑽に努める。

II. 目標達成のための施策（何に取り組むか）

- 1-1 介護保険制度の動向を見据え、県、保険者との連携強化を図り専門職のオンライン研修等に参加し業務の中で実践する。
- 1-2 保険者・県のオンライン研修を生かし内部研修を充実させ職員のスキルアップを図る。
- 2 地域住民が気軽に相談できる開かれた窓口となるよう、来客者には必ず笑顔で明るく挨拶をする。
- 3 有益に委託料を活用することにより、新しい事業展開を実施する。（3-2）

14. 関市認知症初期集中支援チーム

I. 事業所目標

目標（法人目標を達成するために目標とすること）：

- 1 関係機関との有機的な連携による認知症初期集中支援を行い、質の高い認知症支援及び啓発活動を展開する。

II. 目標達成のための施策（何に取り組むか）

- 1 専門職が専任で活動できる強みを活かして、短期間のうちに本人視点の支援、先々の見通しをもった支援を行う。その結果としてBPSDの予防・改善及び家族の介護負担の軽減を図る。
- 2 チーム員会議（支援ケースの検討）を定例会議以外でも、適宜必要に応じて開催し、初動体制の強化を図る。開催に際しては、関係する多職種で検討する。
- 3 市民が必要時にチームを活用できるよう周知・PR活動を行い、新規相談につなげる。
- 4 外部研修の受講等を通じて、スキルアップを図ると共に支援に必要となる最新情報を得る。

15. 児童心理治療施設 児童心理療育施設桜学館

I. 事業所目標

目標（法人目標を達成するために目標とすること）

- 1 桜学館を利用する子どもたち、保護者、働く職員にとって安心できて安全である施設づくりを目指す

II. 目標達成のための施策（何に取り組むか）

- 1 中・長期的施設構想を職員全員で共有し、それに沿って職員の専門性の向上を目指し研修等の充実を図る
- 2 入所している子どもたちの意見をきちんと聞き取る仕組みと子どもの意見を反映した施設づくりを行う
- 3 様々な業務に関するマニュアルの整備をすすめる

16. 子ども支援センター とも

I. 事業所目標

目標（法人目標を達成するために目標とすること）：

- 1 法人理念、児童家庭支援センター運営要綱、里親養育包括支援事業について職員一人一人が理解し子どもの最善の利益のために活用できるよう、子ども、家庭、里親、地域をチームで支援します。
- 2 利用者も職員も心地よく過ごせる環境づくりを意識し、成長と成果をともに喜びます。
- 3 児童家庭支援センター運営事業費補助金、里親養育包括支援事業委託料についてよく理解し、子どもの最善の利益のために活用します。

II. 目標達成のための施策（何に取り組むか）

- 1-1 毎月のともミーティングで法人理念・事業目標を確認する。
- 1-2 ケースカンファランスをとおり対人援助職の知識・態度・技術の専門性を高める。
- 2 定期的な清掃により職場環境の整理・整頓・清潔に職員全員で取り組む。
- 3 相談業務の進行管理を行い意識化共有化し職員のチームワークによりマンパワーの活用を図る。里親制度の普及のため市町村への働きかけ及び委託可能な新規里親の開拓を推進する。

17. ほほえみ保育園

I. 事業所目標

目標（法人目標を達成するために目標とすること）：

- 1 園児が基本的な生活習慣を身に付け、保護者が安心して働ける保育園をめざす
- 2 登録人数・月平均利用人数の増加

II. 目標達成のための施策（何に取り組むか）

- 1 外部・内部研修で得たことを情報共有し、保育に取り組み実践する（外部3回・内部2回）
- 2 園児の個性を大切に年齢や発達に応じた援助が出来るようにする（1回/月）
- 3 利用促進につながる情報提供と提案を行う（利用人数目標7人）

18. 食事提供部

I. 事業所目標

目標（法人目標を達成するために目標とすること）：

- 1 HACCPに基づいた衛生管理を目的とした外部・内部研修
- 2 日常業務の時間短縮を目的とした工程の削減、見直し
- 3 センtralキッチンでの適正稼働
- 4 配食サービスの拡大

II. 目標達成のための施策（何に取り組むか）

- 1 外部研修の参加と、食中毒・接遇勉強会の実施
- 2 改善提案書の提出
- 3 収支改善、②食品ロスの削減（廃棄率、発注量、食材選定の見直し）
- 4 保有契約増加、②新規契約件数増加、③配食数を増やす為の営業活動

19. 本部事務

I. 事業所目標

目標（法人目標を達成するために目標とすること）：

- 1 事務手順を作成することで事務員の知識の整理・底上げを図るとともに、法人の行動規範となり計画的に業務を行うことでワークライフバランスを推進し、長く働ける職場を実現する。

II. 目標達成のための施策（何に取り組むか）

- 1 効率化を意識して業務手順書を作成・更新し、勉強会により他事務員とも共有する。
- 2-1 スムーズに進まない業務に対するPDCA検討会を上司と部下で行い、解決策を見出す。
- 2-2 離職原因の分析と改善行動を行う。
- 2-3 ノー残業デイを実施する。
- 3 法人職員の定着、人事システム、環境整備・設備更新、財務改善に関する改善提案を行う。

